



燃えた夏!!

はまなす の実

— 第 10 号 —

平成13年 9月 1日発行
 鶴岡学園短期大学同窓会
 札幌市南区藤野400番地
 北海道文教短期大学内
 TEL・FAX(011)592-7636

ミレニアムのお祭り騒ぎに肩を押されるようにスタートした21世紀も早や半年を過ぎました。厳しかった冬を何時に無く早々と送り花の時を楽しんだ今年の春でしたが、期待に反して肌寒い日も多い「夏」の始まりになっています。九州などでは梅雨による長雨、大雨による被害があつたとのことで案じております。又、本道を除く地方は大変な猛暑に襲われている様子。全国においでのお窓生の皆様には如何お過ごしでしょうか。お健やかなこととご察し申し上げます。日頃は同窓会の活動にご支援、ご協力を頂きありがとうございます。

激動の20世紀の前半には不幸な戦争がありました。戦禍が益々厳しさを増し、食料事情の悪さも一段と進み、特に本道の食料不足、栄養の偏りが憂慮された昭和17年に固い決意をもって北海道女子栄養学校を開校された鶴岡新

『21世紀を迎えて思う』



鶴岡学園短期大学同窓会

会長 北崎 迪子

〈食物栄養学科3期〉

太郎、トシご夫妻ですが、その入学式に当たり、鶴岡トシ校長は「私の念願は北海道のすべての女性に栄養士になって頂くこととあります。食生活を通して家族の健康を司るのは主婦であります。健康あつてこそ家族の幸福、一家の繁栄があり、それぞれの繁栄は国の繁栄でもあります。」とご挨拶されたそうです。以来59年。敗戦、復興そして急速な発展と歴史を積み上げてきて今、何時身近に起こつても不思議のない形での凄惨な事件が連日のように報道され、「切れる」人々が話題になるこの頃です。摂取の仕方も含めて食事の乱れにその原因があるのではと言われてもおります。劣悪な栄養事情から栄養士養成を目指された鶴岡ご夫妻の願いを今、再び別の角度から考えてみたいものと思っております。私達が学んできた学園はいずれも人間形成の基本に関わっておりますから、21世紀に

も重要な役割を担っております。又、食物栄養学科については更に高度な知識、資格取得のための「管理栄養士課程」昇格を目指し、学園も前向きに取り組んでおりますが同窓会としても昨年より同意書、基金の造成についてご協力をお願いし、既に多くの方よりお寄せ頂いております。これからも皆様の多大な御協力をお願い申し上げます。又、少子化が進んでおりますが学園の発展はひいては同窓会の発展でもあります。大学、短大、高校の一貫教育に意欲的に取り組んでいる学園を是非アピールして頂きたいと思っております。『会員相互の親睦を図る』という目的で運営されている同窓会ですから、電話、FAXを活用されて当会の活動に参加されるとともに、来る10月の同窓会総会には是非ご出席下さることをお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校の益々の発展、皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り致します。

『二十一世紀に問われる短期大学とは』

鶴岡学園理事長
北海道文教短期大学学長



鈴木武夫

学校法人 鶴岡学園は、昭和十七年に栄養学校として創立されて以来、今日では、幼稚園、高等学校、短期大学（別科・専攻科も含む）そして大学と、学生・生徒・園児総数約二千余名を擁する学園にまで発展してきました。明年の平成十四年度には、学園創立六十年を迎えます。

とくに、前身である栄養学校の卒業生を含めた短期大学の卒業生は二万四、八一九名の多きに達し、北海道はもとより全国各地で活躍しております。まことに喜ばしい限りであります。

私は、この四月から浅川前学長の後をうけて、学長に就任しました。学長職ははじめてのことではありますが、これまでの経験を生かし、短期大学の充実と発展に全力を投入する積りであります。

今は、私学は少子化によって、かつて経験したことのないほどの厳しい時期を迎えております。短期大学について

ては、数年前までは、女子の進学者の大半は短期大学に集中し、学生確保にはそれ程苦勞せず学生確保が出来ました。しかし、昨年はそれが逆転し、女子の四大志向が急激に進み、短期大学への志願者が年々減少し、既に学生確保が出来ずに廃校の短期大学もあるやに聞いております。このように学生の進学意識が急激に変化し、入試についても短期大学が学生を選ぶ時代から、短期大学が学生に選ばれる時代に変化し、短期大学によっては全入時代の到来となっております。このようなたいへんに厳しい時代こそ短期大学の真価が問われる時代であると私は考えます。

厳しい現実を直視し、危機状態を好機に変える努力を勇氣をもって断行しなければならぬのです。従来の古い体質から脱皮して、二十一世紀に相応しい、短期大学に、そして地域社会から信頼される短期大学にすべきであります。

更には、常に学生の満足度を満たす教育環境と教育内容の充実に配慮し、

卒業後は北海道文教短期大学で学んだことを誇りに思えるような短期大学にしなければなりません。それには学園の教職員は勿論のこと、同窓生、保護者の皆様の強力なバックアップが不可欠であります。今後の同窓生の皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

管理栄養士国家試験 準備講習会について

第十五回管理栄養士国家試験の合格者が、六月十一日に発表されました。全国の合格率は昨年度の二二・七%より下回る二一・四%でした。昨年度は、本学卒業生の合格は四三名で全国短大順位四位（一九二校中）、北海道では一位と素晴らしい成績を上げました。今年には更に厳しい合格率の中で三九名が合格されました。

年々合格率が低下していますが、これは、病院に加え介護保険の導入に伴い、老人福祉施設でも管理栄養士が求められる状況になったこと、栄養士法の一部改正による平成十七年から試験の仕組みが変わることなどから受験者数が増えています。しかし、短大を卒業し、実務経験を二年以上してからの受験はかなり厳しい状況であることは言うまでもありません。

そこで食物栄養学科では、卒業教育として平成十年から受験準備講習会を開催しています。十四年の試験に向けて一、二月に予定していますが、日時等は未定です。十三年四月に卒業された方から過去五年間の卒業生の方に案内を送付します。住所変更をされている方、過去五年以上の卒業生でこの講習会を希望される方は、「管理栄養士国家試験準備講習会案内送付」と明記をし、氏名（旧姓も）・卒業年・現住所（〒、TEL）・勤務先名を書いて、左記までがき・FAX・e-mailで連絡ください。

〈連絡〉担当・田中律子

- ★はがきの場合
〒021-1404
恵庭市黄金町一九六番地一
- ★FAXの場合
0123-3410447
- ★e-mailの場合
ritsuko@do-bunkyodai.ac.jp

第十五回管理栄養士国家試験合格者名

- 藤中 美紀・五十嵐尚子・中島 佳子・木崎百合子
- 小松 由紀・新谷ちひろ・田村さやか・加藤 知春
- 佐藤真由美・村中 一絵・能村麻衣子・東海林美知
- 香川 容子・橋内 映美・美濃川良江・安齋恵美子
- 佐藤佐知子・村本 和美・山田 亜美・土谷 彰子
- 西久保めぐみ・佐藤 淑恵・教賀おどり・對馬 麻恵
- 小枝 裕子・熊谷理希子・鎌田 理恵・廣川 貴恵
- 堀籠 美穂・南 千里・野村 雅里・戸内 千鶴
- 船越 知恵・井平 淑恵・北山 千春・吉岡恵美子
- 石橋美知緒・工藤 公子・野口多佳子

以上三十九名の方おめでとうございます。

人

第二の人生に想う事

伊藤 静子

(食物栄養学科3期)



三十年間日々の仕事と子育てに追われながら病院栄養士として働き、下の子が社会人として巣立った時、ホットしたと同時に自分をふり返り、病院栄養士だけで来た自分、その仕事も数年で退職と思つた時言い知れぬ不安をおぼえました。そんな折友人から萩・津和野旅行に誘われたのです。すばらしい景色その土地の食べ物に勿論人々との出会いに感動するのの旅ではないでしょうか。四人姉妹で毎年出かけている方、結婚三十周年の御夫婦、何かしらほほえましい限りでした。最終日山口県湯田温泉では、每晚宿泊しているお客に、

女将と従業員による様々な芸を披露し汗を流しお客を笑わせ自分も楽しんでるその姿に頭が下がる思いでした。従業員の方々も日中の仕事をこなしての練習御苦労様と思いつつ、笑いの中に涙がこぼれそうになりました。

最近陶芸を始めたのを知り、萩にさそってくれたのだと勝手に解釈しスキップでもしたくなる様な気分です。帰路に着きました。

人生一度きり、前向きに楽しくチャレンジ精神を忘れず旅しようと思つてます。

お元気ですかか?

「人との出会いに感謝」

木下 晃子

△幼児教育学科 26期▽

夢を持って短大に入学そして卒業。その夢も叶い保育士となった私は、無我夢中で五年間を過ごしました。しかし五年といっても、現実には厳しく正職

員の採用ではなく一年間の臨時職員として毎年職場を変わっていました。やっとな慣れた頃にはお別れしなければならず、とても寂しく次の職場への不安もあり、最初はつらかったです。

でもその繰り返しをしていく中、たくさんの方から、子どもたちと出会えたことで色々な事を教えてもらえたことは、私の人生において最大の経験となつていくことに気付きました。物事を前向きに考えていくことで、私は大好きな保育士という仕事を始めました。人との出会いに感謝しながら、今は良き思い出として振り返っています。

「新しい事への挑戦」

宮越 孝俊

△専攻科 9期▽

卒業生の皆様お元気ですか。私は知床鶏・白樺鶏でおなじみの日本ホワイトファームに勤務している宮越と申します。近年、総菜・HMR等の中食産業の発達は目覚ましいものがあり、調理をせずに食べられるこれら簡便食品は、今後ますますその消費量を伸ばしていくことが予想されています。私は、昨年から通常の業務とは別に、これら簡便食品の商品開発にも従事しておりますが、昨年は一つも商品化できず、肩身の狭い思いをした一年でもありま

した。今年もいくつかの商品提案は行っておりますが、正直厳しい状態です。いつになるかわかりませんが、商品が市場に出回りましただ際には、皆様ご購入のほどよろしくお願い申し上げます。



「ちょうてんちょうじょう 跳殿蝶嬢」

大学・短大・高校 企業の合同チーム

特集

同窓会の「IT革命」 チヨットその前に？

(食物栄養学科26期 工藤 祐司)

鶴岡学園短期大学同窓会のホームページも昨年から運用しています。そこで今回は新しい試みとして、今話題のIT革命にスポットをあてて、特集を組んでみました。



インターネットは一言で言えば巨大な伝言版のようなものです。伝言版？現在はおもうなくなってしまうかも知れませんが、昔は駅に伝言版がありました。チヨックで「先に行きます。○

○子」などの文字が書かれていたものです。その頃の駅は地域のコミュニケーションの発信地でもありました。××町内会の盆踊りとか他の連絡も駅の掲示板に張られていました。

地域の規模が拡大され、現在では世界規模の掲示板や伝言版がインターネットと考えれば良いと思います。駅の伝言版や掲示板は駅の職員が整理していました。しかし、この世界規模の伝言版や掲示板は誰が管理すれば良いのでしょうか。

現在は規制がありません。それは使用者一人一人のモラルに依存しています。

「個人のモラル」これほど無秩序なものはないかもしれません。昨今の話題に「価値観の多様化」などと言われている現在、「モラル」も多様化されているでしょう。ゆえに教育が必要となります。

自分の自由や価値観を主張することが必要と思いますが、他人の自由や価値観も同時に尊重しなければ…。

最近のニュースで「インターネットを始めてから電話料金が異常に増えた。どうやら外国経由でつながっているらしい。ダイヤルQ2から請求書が来る。」などの相談が増えているようです。パソコンを買って、現在はどこかのプロバイダー(家庭からインターネットへ

接続するサービスを行っている会社)への登録もボタン一つで簡単に接続できます。しかし、それは自分の買ってきたパソコンにプロバイダーへつながる設定情報を書き込まれていることを認識しなければなりません。コンピュータが勝手に接続したのではなく、あなたの意思がそうしていることを理解してください。

コンピュータも一つの道具です。知らなかったではすまない場合があります。そのことを十分理解して利用しましょう。

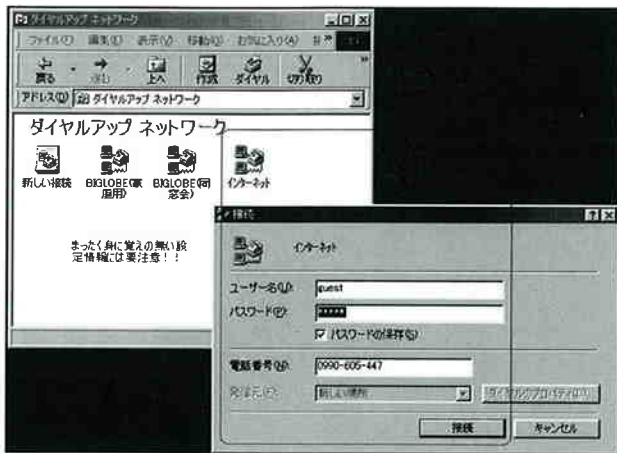
理解して利用するとこれほどの情報量を持ったものはありません。本で調べるよりもっと多くの情報がすばやく表示されます。文字だけではなく、写真や音声や動画なども見たり聞いたりも出来ます。

個人や企業や団体が色々な情報を色々な形で提供しています。中にはそこで一山当てようと考えている人もいますでしょう。あなたのパソコンを利用して合法的にお金をもらいたい。そう考えている人も少なくありません。そこで自動的に外国やダイヤルQ2に接続するプログラムを送りつけよう。このようなサイトもありますので注意してください。(特にアダルト系サイト)

何でもかんでもダウンロードしない。ダウンロードするときはその近くにか

かれている情報を確実に読む。その様な癖をつけましょう。ただで大切な情報をくれる人は少ないのです。定期的に接続先を確認しましょう。

Windows95/98/meで普通の電話回線を利用している場合は、マイコンピュータをダブルクリック↓ダイヤルアップネットワークをダブルクリック↓そこにある「新しい接続」以外のアイコンを右クリックしてプロバイターを表示して電話番号が自分の加入しているプロバイダー以外の電話番号の場合には注意してください。



イーメールは、最近では携帯電話を購入したらサービスを受けます。

少し前まではパソコンのみの機能でしたが、現在では色々なもので利用できます。そこで問題になるのが添付ファイルです。

パソコン同士でもそうですが、相手の環境を考えて利用しなくてはとんでもないことが発生します。テキスト形式のみの場合はあまり意識する必要はありませんが、添付ファイルを送る場合は同じアプリケーションがインストールしていてもバージョンまで気を配らなくてはなりません。ファイルの大きさも重要な問題になる場合もあります。

親切がかえってあだになる場合があることを考えましょう。はじめはメッセージのみで送ってその中で相手の環境を理解しましょう。

ちょっとした注意と心配り、それだけでインターネットやイーメールは多大な恩恵を与えてくれます。

安くなったとはいえまだまだ少し高いパソコンを購入したあなた、その投資を回収する方法は、パソコンをいかに使いこなすか！で多くの利益を生みます。ぜひ利用してください。

◆ ◆ ◆
同窓会のホームページはもうご覧になりましたか？

トップページに続いて、次のような部屋を用意しました。



☆ ホームページ開設について
会長の挨拶と開設についての説明が記述してあります。

☆ 同窓会会則
今後は会則だけでなく住所変更やそれに伴う情報も盛り込みたいと思っています。

☆ 委員会報告
現在の同窓会の各委員会報告をまとめ、会員の皆様に出来るだけ新しい情報をお知らせすることを目的としています。

幹事会・常任幹事会・会報編集委員会・特別委員会議事録等を用意しました。

☆ 同窓会員の部屋

さらに、三つの部門にわけ運用を考えています。

一つ目は、卒業生の声です。同窓会にメールを送られるとこちらの方に公開したいと思っています。

公開したい情報や連絡の手段としてどしどし送信していただければ利用方法も確立すると考えています。

二つ目は、卒業生のリンク集です。現在は、二名の卒業生のホームページにアクセスできるようにしてあります。

たくさんの方の個人用ホームページや会員の皆様方が働くホームページへリンクできる状態にしたいと思っています。

三つ目は卒業生の広場です。具体的な運用は特に決まっています。栄養士や幼稚園教諭・生活全般に関わる講習会や研修会を企画したなどの連絡やお知らせなど、利用方法を一緒に考えてみませんか？

このエリア（同窓会員の部屋）は、会員間の連絡場と考えています。一方的なお知らせではなく、会員の交流を主テーマとして、例えば、いい献立が思い浮かばないとき、仕事に行き詰まったとき、六十年の歴史ある会員の良いアドバイスなどを聞ける場にしたいと思っています。

☆ お知らせ

現在は「ただ今、制作中」という文字が流れる状態です。

以上が、同窓会のホームページの内容です。

ホームページの開設を訴えてから四年の月日が流れました。そして、昨年より開設され、色々な意見や助言を受け入れる状況になりました。ホームページの最大の利点は距離には関係なくお互いのコミュニケーションが図れることだと思います。

運用については、これから皆様方と一緒に考えてゆきたいと思っていますので、ぜひ皆様方の新しい発想とご意見をお待ちしています。

振るってお知らせくだされば幸いです。
ホームページは、
<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~turnoka/>
イーメールは、
turnoka@muc.biglobe.ne.jp

◆ ◆ ◆
今回、見開き一ページを利用して特集を組んでみました。会報編集委員会で、「あまり興味は持たれないのではないか？」との意見の中で、無理にスペースを作っていたいただきありがとうございます。

「食物栄養学科の学部拡充の早期実現を求める運動にご理解とご協力を」

平成十一年に「栄養士法の一部改正」が成立され、食物栄養学科卒業生は管理栄養士の資格を持たなければほとんど就職の採用が無い現況におかれまして。平成十年の同窓会総会で先を見越して道内の栄養科短大の動きと合わせて標記の事が承認され特別委員会を組織し二年余りの検討を経て、食物栄養学科はもとより他学部の皆様にもご理解とご協力を頂くことが平成十二年の総会で確認されました。同窓生の皆様には趣旨をご理解の上出来るだけのご協力をお願いいたします。

合計 数

同意 書 五九六 通

寄付金送金人数 八九 名

合計 金額

一、七四九、三八〇 円

(平成十三年六月末日現在)

寄付金を頂いた方のご芳名

(敬称略)

栄 養 学 校	
昭和20年卒	深 浦 京 子
昭和21年卒	本 田 當 子
	木 村 陽 子
昭和22年卒	市 村 英 子
昭和27年卒	石 田 智 恵 子
昭和29年卒	斉 藤 淑 子
	山 本 幸 子
昭和30年卒	菅 原 美 子
	高 橋 由 季
	石 田 慶 子
昭和31年卒	駒 澤 春 美
昭和32年卒	芥 川 智 恵 子
	小 柳 礼 子
昭和33年卒	小野瀬 雅 子
昭和34年卒	岩 本 園 枝
	小 松 ヨシエ
	伊 藤 洋 子
昭和35年卒	佐 竹 治 子
昭和36年卒	市 田 信 江
	丸 子 和 子
昭和37年卒	秋田谷 和 子
昭和38年卒	森 若 夏 子
食 物 栄 養 学 科	
昭和39年卒	眞 木 初 恵
	嶋 原 亜 記 子
昭和40年卒	小 野 幸 子
	金 子 智 代 子
	菅 原 征 子
	藤 田 し を り
昭和41年卒	北 崎 迪 子
	千 葉 逸 子
	後藤田 倫 子
	熊 谷 浩 子

昭和42年卒	浜 本 秀 子
	長 澤 愛 子
	岡 田 淳 子
昭和43年卒	鈴 木 敬 子
昭和44年卒	野 中 麗 子
	佐 藤 美 貴 子
昭和45年卒	山 田 澄 子
	小 西 洋 美 子
	中 島 康 子
	山 田 み ち 子
昭和46年卒	一 戸 八 栄 子
	五十嵐 久 美 子
昭和47年卒	田 中 英 子
昭和48年卒	松 田 比 登 美 子
	西 沢 和 子
	山 本 恭 子
昭和50年卒	齐 藤 智 子
	川 股 明 美 子
	大 沼 優 子
	田 中 律 子
	西 森 郁 子
	土 屋 浩 子
昭和51年卒	伊 藤 静 香 子
昭和52年卒	石 田 朋 子
	中 村 み ち 子
	木 村 恭 子
昭和53年卒	有 田 英 子
昭和55年卒	澤 口 多 恵 美 子
	増 山 立 雅 子
	大 子 館 祥 子
昭和59年卒	今 泉 直 子
昭和61年卒	井 上 珠 代 子
昭和62年卒	高 橋 由 佳 里

昭和63年卒	田 端 冬 美
平成元年卒	工 藤 祐 司
	工 藤 美 香
平成2年卒	石 井 里 美
平成11年卒	奈良岡 善 之
家 政 ・ 生 活 文 化 学 科	
昭和42年卒	池 田 啓 子
昭和51年卒	笹 山 幾 子
昭和52年卒	桜 庭 り え 子
昭和55年卒	牛 島 典 子
昭和56年卒	中 井 澄 江 子
昭和59年卒	河 井 倫 子
昭和63年卒	松 沢 聡 子
平成9年卒	中 川 紗 智 子
	野々瀬 順 子
幼 児 教 育 学 科	
昭和51年卒	飛 田 和 加 代
昭和60年卒	松 木 寛 美
平成3年卒	安 瀬 靖 子
平成7年卒	青 木 裕 子
別 科 ・ 専 攻 科	
平成元年卒	川原田 愛 子
	山 形 郷 美
平成4年卒	西 尾 房 子
平成8年卒	鈴 木 亜 子

石 田 智 恵 子 さん
 眞 木 初 恵 さん
 西 尾 房 子 さん

には多額の寄付を頂
 いております。

鶴岡学園短期大学同窓会支部長名簿

支 部 長	氏 名	自 宅 住 所 (T E L)	勤 務 先 (T E L)	期
石狩支部 石狩・空知	石澤恵美子	〒066-0071 千歳市桜木1丁目3-8 T E L 0123-23-3511	北海道文教短期大学 T E L 0123-34-0211	食22
道南支部 後志・檜山・渡島	小野 幸子	〒044-0014 虻田郡倶知安町南4条東3 T E L 0136-22-0033	倶知安学校給食センター T E L 0136-22-0506	食 2
胆振支部 胆振・日高	菅原 美子	〒050-0054 室蘭市白鳥台2-38-6 T E L 0143-59-3306		栄12
道北支部 宗谷・留萌・上川	伊藤 静子	〒097-0012 稚内市富岡4丁目13-2 T E L 0162-32-1056	稚内市立病院 T E L 0162-23-2771	食 3
道東支部 網走・十勝	後藤田倫子	〒090-0028 北見市北7条東4丁目 T E L 0157-24-3679	北見学園施設 T E L 0157-24-2701	食 3
根釧支部 釧路・根室	山田 敏子	〒085-0053 釧路市豊平町17-19 T E L 0154-24-7237	トップラーン道東研究所	食 3

平成13年度予算

自 平成12年10月1日
至 平成13年9月末日

収入の部 (単位: 円)

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	1,369,511	
会 費	4,575,000	平成12年度分 305名×15,000円
利 息 収 入	1,500	普通預金利息
名 簿 代	8,000	2冊
計	5,954,011	

支出の部 (単位: 円)

科 目	金 額	備 考
総 会 費	500,000	会場費
卒業記念品費	305,000	305名×1,000円
印 刷 費	1,000,000	総会の案内・会報印刷等
通 信 費	1,500,000	総会案内・会報発送・支部通信費 電話代・切手代・他郵送代
事務消耗品費	150,000	事務用品
会 議 費	500,000	常任幹事会・支部長会・幹事会・会報 委員会・4大特別委員会等の会議費
交 通 費	500,000	常任幹事会・支部長会・幹事会・会報 委員会・4大特別委員会等の交通費
アルバイト費	500,000	名簿及び事務の整理 消息不明会員の追跡費用
名簿整理費	10,000	名簿等の整理
研 修 費	300,000	講演会・講習会開催の為
予 備 費	50,000	
基本金積立金	0	定期預金
次年度繰越金	639,011	
計	5,954,011	

平成12年度決算

自 平成11年10月1日
至 平成12年9月末日

収入の部 (単位: 円)

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	4,321,933	4,321,933	
会 費	4,980,000	4,110,000	11年度分 274名×15,000円=4,110,000円
利 息 収 入	1,500	2,023	普通預金利息
名 簿 代	12,000	8,000	2冊
懇親会会費		150,000	3,000円×50名
計	9,315,433	8,591,956	

支出の部 (単位: 円)

科 目	予 算	決 算	備 考
平成11年度総会 及び懇親会 卒業記念品費	500,000	327,371	会場費、ビンゴ景品代 送迎バス代 450名×1,020円 内消費税(22,950円)
印 刷 費	447,000	481,950	総会の案内印刷 会報印刷・はがき印刷 総会案内・会報発送 電話代・切手代
印 刷 費	1,500,000	920,554	事務用品、コピーカートリッジ
通 信 費	2,000,000	1,083,114	常任幹事会・会報委員会 4大特別委員会・幹事会 常任幹事会・会報委員会 4大特別委員会・幹事会 名簿及び事務の整理 消息不明会員の追跡費用
事務消耗品費	150,000	181,325	
会 議 費	700,000	347,015	
交 通 費	600,000	310,820	
アルバイト料	800,000	570,296	
名簿整理費	10,000	0	
研 修 費	300,000	0	
予 備 費	100,000	0	
基本金積立	1,000,000	3,000,000	
次年度繰越金	1,208,433	1,369,511	
計	9,315,433	8,591,956	

平成十三年度事業計画

- 一、同窓会名簿の整理
- 二、平成十二年度卒業生への記念品贈呈
- 三、研修会(講演会、講習会、見学会等)の開催

- 四、会報の発行
会報「はまなすの実」第10号を発行予定
- 五、支部の充実
- 六、食物栄養学科4年大昇格について
- 七、その他

平成十三年度 同窓会総会のご案内

■日時 平成十三年十月十三日(土)

受付 十四時三十分

総会 十五時 ~ 十六時

講演会 十六時三十分 ~ 十八時三十分

懇親会 十八時三十分 ~ 二十時三十分

■場所 センチュリーロイヤルホテル

(札幌市中央区北五条西五丁目)

総会及び講演会

懇親会

■会費 六、〇〇〇円

◆役員◆

会長 北崎 迪子(食3)

副会長 後藤田倫子(食3)

常任幹事 橋本美佐子(栄1)

植本 浩司(食26)

池内 聡美(幼18)

小向 朝子(幼12)

北川 幸子(栄4)

田中 律子(食12)

市村 英子(栄5)

東 定利(食28)

鈴木 亜子(専9)

鈴木 祐司(食26)

工藤 美香(食26)

工藤 美香(食26)

同窓会事務局(札幌市南区藤野四〇〇番地・北海道文教短期大学内)
直通専用番号

☎・FAX(〇一一)五九二一七六三六番

学 科 等	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
推薦 食物栄養学科 幼児教育学科	平成13年 10月29日(月) ~11月12日(金)	11月20日 (火)	11月22日 (木)	12月6日 (木)
I 期 食物栄養学科 幼児教育学科	平成14年 1月11日(金) ~1月28日(月)	2月2日 (土)	2月5日 (火)	2月19日 (火)
II 期 食物栄養学科 幼児教育学科	平成14年 2月11日(月) ~2月26日(火)	3月5日 (火)	3月7日 (木)	3月18日 (月)

別 科	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
第 1 回	平成13年 10月29日(月) ~11月12日(月)	11月20日 (火)	11月22日 (木)	12月6日 (木)
第 2 回	平成14年 1月11日(金) ~1月28日(月)	2月2日 (土)	2月5日 (火)	2月19日 (火)
第 3 回	平成14年 2月11日(月) ~2月26日(火)	3月5日 (火)	3月7日 (木)	3月18日 (月)

対 象 者	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
社会人(第1回)	平成13年 10月29日(月) ~11月12日(月)	11月20日 (火)	11月22日 (木)	12月6日 (木)
社会人(第2回) 帰国子女 外国人留学生 編入	平成14年 2月11日(月) ~2月26日(火)	3月5日 (火)	3月7日 (木)	3月18日 (日)

専 攻 科	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
第 1 回	平成13年 10月29日(月) ~11月12日(月)	11月20日 (火)	11月22日 (木)	12月6日 (木)
第 2 回	平成14年 2月11日(月) ~2月26日(火)	3月5日 (火)	3月7日 (木)	3月18日 (月)

入試に関する問い合わせ

入試広報課 電話(0123)34-0160 FAX(0123)34-1640
恵庭キャンパス 電話(0123)34-0160 FAX(0123)34-1640
札幌キャンパス 電話・FAX(011)592-7590

【平成十四年度入試予定】

帰国子女、外国人留学生、転入学生を対象とした特別入試もあります。詳しくは短大入試事務局へ。

編集後記

同窓会会報「はまなすの実」も今年で第十号を発刊することが出来ました。記念すべき第十号の編集作業に携わる事が出来ましたことは、私にとってもよい経験となりました。無事発刊を迎える事が出来ましたのも、会員の皆さんの御協力があったからこそだと感謝しております。

今後も同窓会に御協力お願い致します。御意見・感想等がございましたら、同窓会事務局宛に御寄せ下さい。

編集委員

北崎 迪子・鈴木 寛美
工藤 祐司・鈴木 亜子

発行所 鶴岡学園短期大学同窓会

会長 北崎 迪子

編集委員長 鈴木 亜子

札幌市南区藤野四〇〇番地

電話(〇一一)五九二一七六三六番

(題字は浅見晴江さん(食4期)による)